

# 平成30年度 評価調査者指導者研修会 プログラム

日	区分	時間	研修課目	講師(敬称略)	主な内容
第1日 (6月26日火)	講義	10:30~		受付	
		11:00~11:15	開講	全国社会福祉協議会	・本研修の位置付け等について
		11:15~12:00 (45分)	【講義1】 「福祉サービス第三者評価事業について」	厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課	・第三者評価事業の概要と目的、必要性 ・社会福祉法人制度等をめぐる状況 ・第三者評価事業の課題と今後の方向性
		12:00~13:00		昼食休憩	
		13:00~14:00 (1時間00分)	【講義2】 「福祉サービスの質の向上と第三者評価事業」	全国社会福祉協議会 政策企画部	・第三者評価事業の現状と福祉サービスの質の向上に向けた課題等 ・全社協「福祉サービスの質の向上推進委員会」の取り組みの意義と今後の活用に向けて
		14:00~14:05		休憩	
		14:05~15:45 (1時間40分)	【講義3】 「福祉サービス第三者評価基準ガイドラインの理解」	国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部長 福田 敬 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 共通基準等部会長)	・福祉サービスの質と第三者評価基準(総論) ・福祉サービス第三者評価基準ガイドライン(共通評価:45項目)の考え方及びポイント ・評価結果の公表ガイドラインの考え方とポイント ・内容評価基準の策定指針
		15:45~15:55		休憩	
第2日 (6月27日水)	講義	15:55~16:55 (1時間)	【講義4】 「障害者・児福祉サービス版 福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の概要とポイント	上智大学 教授 大塚 晃 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 障害部会 部会長)	・障害者支援をめぐる現状と課題 ・障害者・児福祉サービス版 第三者評価基準ガイドラインの考え方及びポイント
		17:00~		(任意)参加者による情報交換会	
		9:00~10:30 (1時間30分)	【講義5】 評価調査者の役割と倫理	神奈川県立保健福祉大学 名誉教授・顧問 山崎 美貴子 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 委員長)	・評価調査者の役割 ・評価調査者として守るべき倫理と調査時に求められる姿勢 ・第三者評価の標準化と専門性
		10:30~10:40		休憩	
		10:40~11:40 (1時間)	【講義6】 「高齢者福祉サービス版 第三者評価基準ガイドライン」の概要とポイント	福井県立大学 教授 奥西 栄介 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 高齢者部会 専門委員)	・高齢者支援新制度をめぐる現状と課題 ・高齢者福祉サービス版 第三者評価基準ガイドラインの考え方及びポイント
		11:40~11:50		休憩	
		11:50~12:50 (1時間)	【講義7】 「保育所版 福祉サービス第三者評価基準ガイドライン」の概要とポイント	大阪総合保育大学 学長 大方 美香 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 保育小委員会・作業委員会 委員長)	・子ども・子育て支援新制度をめぐる現状と課題 ・保育所版 第三者評価基準ガイドラインの考え方及びポイント
		12:50~13:40 (50分)		昼食休憩	
第3日 (6月28日木)	実習等指導法	13:40~17:40 (4時間) (240分) ※途中休憩あり	【演習Ⅰ】 ① 評価機関の体制づくり ② 第三者評価のプロセスと留意点 ③ 事前分析・事前準備 ④ 自己評価の支援 ⑤ 利用者調査の実施	全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 代表 新津 ふみ子 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 評価調査者部会長)  全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 岡田 賢宏 (全社協・福祉サービスの質の向上推進委員会 評価調査者部会 専門委員)	・『福祉サービス第三者評価実践マニュアル』のポイントと活用 ・受審施設・事業所における事前準備のポイントと評価機関の支援 ・事前分析(書面審査)の目的と具体的方法 ・基本情報シートの活用 ・評価調査者と自己評価の実施支援の方法 ・利用者調査の位置付けや意義、その結果の取扱い、実際の調査法
		9:30~17:30 (8時間) (480分) ※途中休憩あり	【演習Ⅱ】 ① 訪問調査 ② 合議・評価結果のとりまとめ ③ 評価結果報告書の作成 ④ 評価結果の報告と公表 ⑤ 第三者評価を活用した福祉サービスの質の向上の取組	同上	・訪問調査における評価判定方法、着眼点についての課題演習、事例検討 ・訪問調査(インタビュー技術等)について学ぶ実習指導法、訪問調査時の留意事項 ・訪問調査の結果に基づき評価調査者間で行う合議、最終的な第三者評価結果のとりまとめ等報告書の作成と留意事項 ・評価結果の公表ガイドラインの活用 ・事前課題(評価結果)の検討
第4日 (6月29日金)	実習等指導法	9:30~12:00 (2時間30分) (150分)	【研修科目】 ① 研修の企画実施 ・演習と実習の企画・実施 ・演習、公表・まとめの展開  【まとめ】 ① 評価機関マネジメント ② 研修全体のまとめ	同上	・福祉サービス第三者評価基準(共通評価:45項目)等の理解の促進に向けた評価調査者養成研修、継続研修における企画実施方法 ・実習の成果発表、演習における講師としての講評法、とりまとめ等に対する問題点や課題、評価調査を実施する上での留意事項 ・福祉施設・事業所の福祉サービスの質の向上と第三者評価・評価調査者の役割 ・演習方法と講評、まとめ  <評価機関のマネジメント> ・第三者評価の実施に係る組織的な対応、プロセス管理 ・評価チームの編成、チームマネジメント ・評価機関における評価調査者の研修 ・評価受託に向けた取組・工夫 ・福祉サービスの質の向上に向けた取組
		12:00		閉講	